

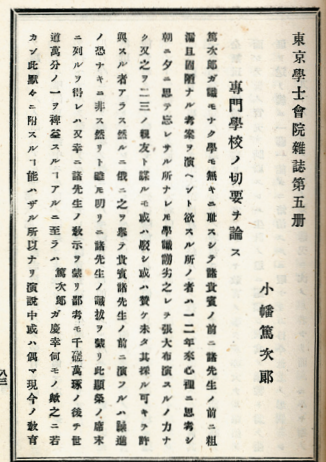
1950・昭和25 明治大学高等会計研究科生募集要項

戦後開始された会計士試験の受験対策と経理に関する高等知識の教授を目的として1950年設置。修業年限は1年でした。

1885・明治18

小幡篤次郎「専門学校ノ切要ヲ論ス」 (講演は1879年頃)

小幡は慶應義塾の出身で、のち塾長・社頭をつとめました。この講演で小幡は「博識」ではなく「深識」を教授する高度専門教育の必要性を訴えました。小幡の考えは、その後の専門教育に影響を与えました。



2005・平成17

2005年度明治大学会計 大学院会計専門職研究科 (アカウンティング・スクール) ガイドブック

「次世代を担う会計専門職業人の育成」を目指し設置されました。パンフレットはその第一期生を募集するものです。

2004・平成16

法科大学院(現法務研究科)、 グローバル・ビジネス研究科、 ガバナンス研究科、開設パンフレット

新しい秩序に貢献できる法曹養成(法科大学院)・知識やスキルを重視する社会における学習ニーズに応える(グローバル・ビジネス研究科)・公的ガバナンス部門における高度職業人の育成・能力向上に資する(ガバナンス研究科)を目的として設置されました。



専門職養成の歴史

明治大学には現在、公共政策、ビジネス、会計、法務の4領域を擁する総合型専門職大学院が設置されています。淵源をたどると明治大学は、創立の1881(明治14)年から高度専門職養成教育機関として歩みを進めてきました。今回はその歴史をたどることにします。

明治大学史資料センター 村松 玄太

目で見ると 明治大学の 歩み #81

明治大学史資料センター

1892・明治25

代言人免許証

法学の勉強に励み、試験を突破してここにある代言人(現在の弁護士に相当)資格や判事・検事資格を得ることが、草創期明治法律学校生の目標でした。ちなみに免許状にある重藤は明治法律学校草創期の卒業生で、のち長崎で弁護士事務所を開業しました。

